

幼少期からのステロイド使用後に全身症状を経て皮膚の潤いが戻った成人アトピーの経過 (31 歳 男性)

症例 ID：001-30-MTs | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

7 歳頃から肘・膝の内側に湿疹と出血があり、ステロイド外用を続けました。28 歳頃から外用薬が効きにくくなり、指先の水疱から背中、足、顔へ症状が広がりました。

市販のかゆみ止めへ切り替えた約 2 週間後から、起床時に全身の皮膚がはがれるような痛みが出ました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期からステロイド外用薬を使用し、28 歳頃にはより強い外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	強い外用薬を含みます。
使用期間	7 歳頃から 31 歳頃まで断続的に使用しました。
中止時期	松本医院受診前です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
7 歳頃	発症	肘・膝の内側に湿疹が出て、掻破により出血しました。
28 歳頃	悪化	ステロイドの効果が弱まり、指先の水疱と全身の湿疹が広がりました。
治療開始 4 日頃	急性悪化	顔が赤く腫れ、黄色い浸出液が出て座ったまま眠る状態となりました。
治療 1 か月	全身症状	症状が全身へ広がり、皮膚が赤黒くなりました。
治療 2 か月	ピーク後	全身の落屑が続きながら、症状が次第に落ち着き始めました。
治療 3 か月	皮膚再生	皮膚が新しく整い、指先の水疱がほとんどみられなくなりました。
治療 4～5 か月	記録時点	首を含む皮膚に潤いと張りが戻り、治療を継続していました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始 4 日頃から約 1 か月後にかけて、顔の著しい腫れと黄色い浸出液、全身の赤黒い皮膚症状がみられた時期です。

5. 困りごと

- 顔の腫れと浸出液のため座ったまま眠る必要がありました。
- 外見上の変化により、会社へ行くことが負担となりました。
- 毎日 1 時間以上の入浴と内服を続ける必要がありました。

6. 経過のまとめ

治療 3 か月頃には指先の水疱がほとんどなくなり、4 か月以降は首を含む皮膚に潤いと張りが戻りました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。